

だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里
「だいち」広報委員会
〒349-0101
埼玉県蓮田市黒浜1045-1
TEL 048-764-3881
FAX 048-764-7788
H P <http://minuma-hukushi.com/>

サツキ あまのし

書 関口忠司



巻頭コラム

こんにちは。昨年11月より調理パートとして入職しました片岡裕章です。元々自宅が蓮田でレストランを営んでいました。その後、都合により閉店したため、その後は中華料理店や老人ホームの調理の仕事をしていました。昨年、友人の誘いで障害者支援施設のボランティアをさせて頂いた事がきっかけで、障害福祉の仕事に携わりたいと考えるようになり、入職させて頂いたことになりました。

いずれは生活支援員の仕事もしていけるようになりたいと考えています。まだまだ不慣れなためご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、一生懸命美味しい料理を作って皆さんに喜んでいただけるよう頑張っていきたいと思えます。

片岡 裕章（調理パート）



入職職員挨拶

太陽の里から大地に1月から異動になりました、伊佐地征博です。大地が開所するにあたって里に採用になったのが16年前です。月日が経つのは早いなと感じます。今年の駅伝に30歳の新人ランナーを「オールドルーキー」と呼んでいるのをみて自分にもあてはまるのかなと、17年目の「オールドルーキー」として大地で頑張っていきたいと思います。大地には里から来た仲間の方々が居るので本当に心強く温かくして頂いています。

伊佐地 征博（厨房）

退職職員挨拶

ずっと夜勤をしていましたので、ある時は脱衣所で、ある時は床で寝て夜を明かしました。そうやって大地の空気が全身の毛穴から染み込み、大地のホコリのおいが染みついていくものですから、大地ロスといえますか名残惜しさが拭えません。

15年間、自身も仲間もご家族も職員もそれぞれに、肉体的な限界、能力の限界、時間的な経済的な、さまざまな限界があるのを見してきました。それは一見私たちのあゆみの障害のようですが、実はそんな障害こそが、人間を優しく謙虚にし思いやりたわり合わせる素地なのだとしてリアルに学ぶことができました。この貴重な学びを忘れずに、次の道をおゆんでいきたいと思えます。

お世話になりました。

山田 哲矢（宿直アルバイト）

皆さん、こんにちは。近藤優香です。今年の5月に大地に復帰させて頂きましたが、一身上の都合で12月いっぱい退職させて頂くことになりました。

復帰をさせて頂いて、初日は凄くワクワクドキドキしながら出勤したことを覚えています。出勤すると大地の仲間・職員の皆さんが「おかえりなさい」と笑顔で迎えてくれた事を憶えています。凄く嬉しかったし、「大地に戻ってきて良かった」と心から思いました。

復帰させて頂いてからは勤務時間を短縮させて頂いたり、子どもが体調を崩してしまうことが多く休みがちになったりと、仲間や職員の皆さんには色々ご迷惑をお掛けしてしまいました。沢山迷惑を掛けてしまっているのに、出

勤すると「子ども大丈夫？」や「あまり無理しないでね」など優しい言葉を皆さんからもらい、復帰してから大地で働くことが出来ました。

大地の仲間や職員・家族の皆さんに助けてもらいながら働かせてもらい、本当に感謝の言葉しかありません。

皆さん5年間本当にお世話になりました。5年間大地で働くことができてとてもとても楽しかったです。ありがとうございます。

近藤 優香（職員）



「12の月のおくりもの」展

銀座にあるギャラリーーナユタでの工房集セレクション展「12の月のおくりもの」に、大地から土屋莉恵さん、田村美弥さんの絵が展示されました。工房集カレンダーの莉恵さんは6月、美弥さんは11月を飾っています。

展示期間中に美弥さんと一緒にギャラリーーナユタに行ってきました。歴史ある建物に手動のエルベーター。ギャラリーにたどり着くまでにドキドキわくわくです。エルベーターに美弥さんの車イスが入りきらないトラブルもありましたが、普段のリハビリの成果を発揮して歩いてギャラリーまで向かいました。

とても素敵な空間、白い壁に色とりどりの作品がとても映えていました。入って右側に美弥さんの

動物シリーズ。ギャラリーのおねえさんとお話ししながら「これは鳥」「こっちは何でしょう?」とクイズ大会が始まりました。普段の食事の時間など周りの仲間の気持ちを想像し代弁してくれたり、美弥さんが知っている情報を職員に教えてくれたり、優しく明るい美弥さんの性格が表れているような作品がたくさん並んでいました。

正面には努力家で根気強い莉恵さんの力強い作品。おだやかでいつも笑顔の莉恵さんの内なる熱い思いが伝わってくるようでした。残念ながら今回は莉恵さんは一緒に観に行くことが出来ませんが、ギャラリーで展示された写真をお部屋に貼ると「ありがとう」と相変わらずにっこり優しい莉恵さんでした。

島田 明音(職員)

児童発達支援事業 シヤインより

こんにちは!新しい年を迎えみなさんいかがお過ごしでしょうか? シヤインの子どもたちは、誕生日会やお正月遊び、雪遊びなど、今年も元気いっぱいに過ごしています!!

誕生日会では、みんなでクレープ作りをしました。苺やバナナ、チョコなど好きなものを自分で選んで作る楽しさを感じたり、口にクリームをたくさんつけながら美味しそうにクレープを頬張ったりと美味しく楽しい誕生会になりました。

お正月遊びでは、コマやけん玉、かるた、羽子板、坊主めくりなど昔ながらの遊びをみんなで楽しみました。初めてコマをみた子どももいましたが、「遊びの天才」な子どもたちは、職員がやっている

のをみるだけで上手にコマを回すことができて、職員も本人もびっくろ!職員の方が悪戦苦闘して、誇らしげな表情の子どもたちの隣で、何度もコマ回しの練習をしていました。

子どもの頃によく遊んでいた世代の職員は、身体が覚えているようで、手にコマをのせる技や、回すコツなどを子どもたちに教えてくださいました。「僕もやってみたい!すごい!」という憧れの思いがあったから、子どもたちも負けじと何度も頑張ることができたのではないかと思います。

子どもも大人も熱中する昔ながらの遊びの大切さを感じられた出来事でした。



船越 美恵(職員)

★冬のプログラム企画

こんにちは。今年の冬季プログラムは、ボウリング大会や風船バレー、ポッチャなどを楽しみました。また例年通りお世話になっている方に年賀状を出したり、皆で書初めをしたり、DVDをみてのんびり過ごす日もありましたね。

★風船バレー

12月31日に風船バレーをしました。玉枝さんは風船が来ると嬉しそうに打ち返し、よほど楽しかったのか風船バレーの試合が終わってから職員や仲間にも風船を渡しまだやりたいとアピールするほどはまっている様子でした。直美さんも上から落ちてくるボールをタイミングよく叩く事ができ、周りの仲間から「凄いね！さすがもとバレー部！」等、声をかけられてニヤリと得意な表情で楽し

む姿が印象的でした。水野さんは審判をしてくれましたが、途中眠ってしまい、周りの仲間から「水野くん起きて！」と声をかけられていました。緊張が強い仲間も風船を一生懸命打ち返してとても楽しそうに、時には真剣に試合を行う姿が見られました。職員も仲間と一緒に真剣になって楽しむことが出来、年末のとても楽しい思い出になりました。



★ポッチャ大会

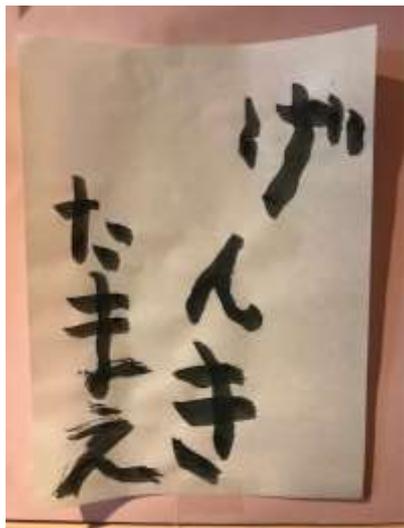


1月5日には、冬プログラムの恒例行事として今年もポッチャ大会が行なわれました。3チームに分かれて総当たり戦で競われました。自分で転がす仲間も補助具を使う仲間もみんな楽しそうな表情を浮かべ、参加していました。チームに関係なく仲間同士応援している姿が見られ、いい雰囲気のままポッチャ大会を終えることが出来ました。来年もまた、みんなでポッチャが出来ることを楽しみにしています。

★書初め

お正月といえば書初め！ということで毎年恒例行事の書初めも行われました。仲間だけでなく職員もそれぞれ今年の抱負を真剣に悩み書く姿が印象的でした。

この広報の表紙も書いている関口さんは「ちよとつもうしん」といつもの味のある関口さんらしい書が出来ました。玉枝さんは職員の手添えで「げんき」と一言。言葉通りの新年早々元気に過ごす姿が見られ、2018年ともいいスタートが切れたのではないのでしょうか。



★初詣

こちらでも毎年恒例、大地のすぐ近くにある神社に初詣に言ってきました！風が冷たくとても寒い中の初詣でしたが、神社までの道中は黒浜沼の周りをゆっくりと歩きながら、帰省した仲間の家での様子やどんな一年にしたいかなど、お正月らしく仲間や職員でまったりと会話をしながら向いました。

小さな神社ですが近所の家族連れの方や犬を連れてお散歩がてら来る方もいてとてもほっこりする神社でした。



お賽銭を入れ去年のお礼と今年の願いをお祈りする姿は皆真剣で、何をお祈りしたの？と聞くと自分だけでなく職員の健康を願ってくださる仲間もいて新年早々とても嬉しく心温まる時間になりました。

また、参拝した人に向けてお神酒が置いてあり、飲める仲間は少しずつ分けてもらい飲みました。少しいましたが身体が温まり、ほろ酔い気分の仲間もいて、楽しい笑い声が響く帰り道となりました。

帰宅後は割り箸と紙で旗を作り箱根駅伝を応援したりと思い思いのお正月を過ごしました。

★お好み焼き・ホットケーキ作り

みんなで作ったご飯が食べたい！との要望で今年はお好み焼き・ホットケーキ作りを2日のお昼ご飯に行いました。

いつもは厨房で作られて出てくるご飯が目の前で作って貰えるという事で仲間達の嬉しそうな声やいつもと違う雰囲気ワクワクしている様子がうかがえました。

ひっくり返すのに悪戦苦闘する職員を横目に、さすがプロな厨房さんの頼もしい手つきに歓声があがる場面もありました。



「たまにこういうのがあると嬉しいね」や「やっぱり出来立てアツアツは違うー！」など楽しい会話が飛び交い食欲が増すお昼となりました。

いつも美味しい食事を出してくれるだけでなく、イベントでも仲間達を楽しませてくれる厨房さんに感謝し、いつも以上に美味しく楽しく食事ができた一日でした。



小原 陵太(職員)

園芸療法より

シッと春を待つラベンダーは、今寒風に耐え、越冬中です。

斜面に植わっているラベンダー、温かくなって来たら、古い株を抜き、新しい株と入れ替えます。そしてまた、古い株は差し木にして次に活かす計画です。

大地のラベンダーは開所当時のものが多く、昨年やっと一部を新しい株と入れ替えました。

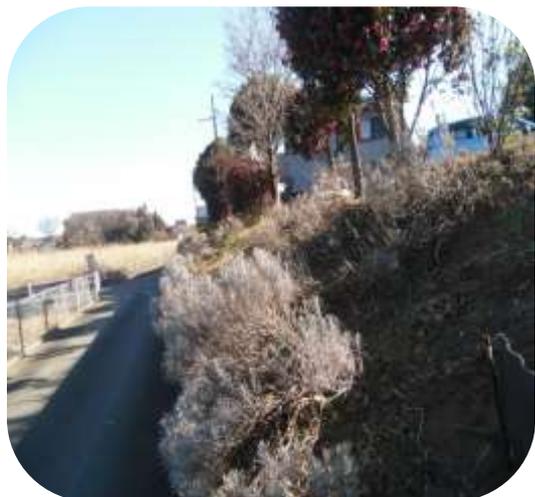
ラベンダーは低木です。そして、古くなると木の部分だけが伸びてしまい、花の咲く部分が少なくなり、本数が余り取れない、細い枝にしかならないので、だいたい5年程で株は入れ替えるといいらしいのです。

1年のうちで最も寒いと言われる2月。この季節を乗り切れば、春の足音もはっきり聞こえる3月になります。

春が待ち遠しい気持ちは植物も同じらしいです。

ラベンダーは雪が降っても耐えられるけど、根が凍ることで株が痛むらしいです。雪よりも霜が怖いという事になりますネ。丁寧に育てるならば、ワラやボロ布を根本の部分に厚く敷く対策が望まれるそうです。

ちなみに、ラベンダーで有名な北海道の富良野地方では、積もった雪が「布団」の役割をして、根を傷めないそうですよ。



高崎 隆夫（職員）

音楽療法より

こんにちは！音楽療法担当の安藤です。早いもので今年度も残りわずかですね。

さっそくですがみなさん、「回想法」ってご存知ですか？「回想法」とは過去の懐かしい思い出を語り合ったり、誰かに話すことで精神が安定し、認知機能の改善が期待できる心理療法です。実はこの「回想法」、音楽療法ととても深く関係しているのです。

大地では毎月第3土曜日に「うたの取り組み」が行われています。この取り組みの中では童謡や唱歌、昔の歌謡曲などを季節に合わせて皆で歌います。音楽は「記憶の扉を開けるカギ」とも言われているので、子どもの頃に歌った曲や若いころに流行った曲を歌うと「回想法」と同様に昔のことを思

い出して脳を活性化させる効果があり、認知症の症状改善等が期待できるそうです。今後、仲間たちの高齢化が進むにつれて「音楽」はより欠かせないものになってくるのでしょね。

みなさんもぜひ、カラオケに行って自分の好きな曲を思い切り大きな声で歌ったり、自宅や車の中で好きな曲を聴いてみてください！

安藤 浩子（職員）



なかまと

みんなの

輪



まりこの 素敵な日常

みぬまコンサートに行ってきました。
はだしょうこさんのうたう
ありのままがよかったです。

まりこ



だれでもかぜはひひひね。
わたしもしょうこもひひひね。
どんなにくるしうのひひひねてもあた
たかくしひひね。

みやより

ゆかいに したい

おかあさんにあいに行ってきました。
わたしのおいっこにおとしだま
をあげました。
よろこんでくれました。
しごともっとがんばろうとおもいま
した。

りえ



おすすめ

ママの LINE

ボランティア 募集

ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、藤井）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう
ございました!



（順不同）

小澤 幸子様
岡田 早苗様
岩上 めぐみ様

29年1月度に寄付して下さった方
ありがとうございました



近野茂治の
今月のイイネ!



初詣に行ってきたよ!
真剣にお願いしたから
叶うといいなあ...

大地2月の予定

10日	(土)	家族会 評議委員会 きょうされん運営委員会
15日	(木)	成人・古希を祝う会
18日	(日)	みぬま実践検討会
21日	(水)	東浦和駅 駅頭募金
24日	(土)	蓮障連 市民公開講座



北隅 友輔（職員）

皆さんこんにちは。まだまだ寒い日が続いていますが体調は崩されていないでしょうか。大地の仲間達は寒さに負けず一生懸命仕事を頑張っています。そこで課業よりお願いがあります。ウエスの材料となる古着↓綿100%の衣類（シャツ、ズボン、タオル、シーツ）が不足しています。その為、皆様のご自宅に眠っている使わなくなった衣類を寄付していただけたらと思います。その他にもバザーなどで販売できるような綺麗な衣類も募集しています。仲間たちの仕事に活用させていただきますので、ご協力お願いします。

課業より

<広報だいち> 広報委員会（職員） 面来・北隅・安藤・岡部・小原
（仲間） 田村・神永・土屋莉恵・関口・近野